

わたらせ

第1地区コミュニティ
わたらせ広報部会

創刊号

発行：令和2年11月



第1地区コミュニティ「わたらせ」設立のご挨拶

この度、古河市行政自治会第1地区に「コミュニティわたらせ」が古河行政区18番目のコミュニティとして誕生いたしました。設立にあたり市民協働課よりのご指導と第1地区36自治会の支援と設立準備委員の皆さんのおかげでコミュニティ組織が設立できたことに深く感謝申し上げます。

第1地区は第一小学校学区を中心に数々の文化財や歴史的文化施設があります。旧市内の道辻を歩けば脇差姿の武士・荷物を背負った商人・旅人を呼び込む旅籠・町人が住みにぎやかに生活した往時が偲ばれます。ここに町内（自治会）の原点があります。

第1区を構成する多くの自治会は夫々の歴史的な町内行事をもち、継承し今に至っております。しかしながら社会生活の情勢は少子高齢の社会となり、地域にある町内文化の事業継承や居住内の環境整備、安心安全の防災訓練など一自治会ではできない状況下にあります。地域連帯の共助を地区内の力の結集により問題を解決してゆく、それがコミュニティであり、その過程で人との接点が地域間の交流となります。

先人の残したこの素晴らしい歴史風土を、さらに活性化させるのはコミュニティの力です。

「まちづくりは生きもののニーズに合わせて変化することが大切」結城史隆氏。「コミュニティわたらせ」は第1地区自治会内7700余人を横断的に組織するコミュニティです。地域内にある問題と課題を英知と行動と柔軟さをもって解決にあたり地域の活性を確実にはかり一歩ずつ歩んでいこうではありませんか。



第1地区コミュニティわたらせ
会長 井上 淳

第1地区コミュニティ「わたらせ」設立によせて

この度、第1地区コミュニティ「わたらせ」が設立されましたことを心からお祝い申し上げます。

また、皆さんには、日頃より、市政全般にわたり、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大という未曾有の事態により、地域活動も大きく変化しました。「新しい生活様式」を取り入れながら、地域活動を継続していくことの難しさの反面、改めて地域の絆の大切さが再認識され、安全で安心な生活が送れる地域社会の確立が非常に重要であると確信しました。

そのような中、第1地区では36の自治会を中心とした地域の皆さまと地域に根付く各種団体が連携協力し、より強い地域のつながりを目指すことを目的とした地区コミュニティが設立されましたことは、大変意義深いことです。

今後も市民の皆さまが主体となり、地域の実情にあつた地域づくりに向け、若者から高齢者ならびに子育て世帯なども含めた幅広い年代が、活動に取り組まれますことをご期待申し上げます。

結びに、設立にご尽力いただきました準備会の皆さんに、心から敬意を表しますとともに第1地区コミュニティ「わたらせ」の今後のご発展を祈念申し上げ、お祝いのことばといったします。



古河市長
針谷 力

第1地区コミュニティ設立趣意書

1. 趣意書概要

既存の自治会より広い範囲で地域づくりを支える組織として、古河第一小学校区を単位とした第1地区コミュニティ組織を立ち上げる。

2. 地域背景

第1地区は古河市西部に位置し古河城下の歴史と文化の面影が色濃く残る地域であり歴史ある町会が今に至っており、古河市行政地区内で最も多い36の自治会を内包した地区である。しかしながら多くの自治会は小規模（100世帯内）であり、その地域の自治会事業も実情に合う活動となっており、担い手不足は伝統の自治会行事を行うのも困難になっている。

3. 設立目的

自治会単独では困難な事業活動を地区事業としてコミュニティ組織を活用し事業を実施することにより地域の連携と住人の更なる融和と親睦がはかれる。

近年の自然災害は多くの問題が提起された。大震災・河川増水等の防災避難の訓練・予防など地域住民の安全と安心の推進は最重要事項である。

ソフトな事業として、歴史ある景観の保全と維持、地域環境の整備をコミュニティ全体で推進しこの歴史ある地区を誇りとする事業の展開をはかる。

伝統ある各々の自治会の活動は継続実施し、コミュニティの全体事業への参加により各自治会の連携と融和が増進される。

4. 今後の主な活動

歴史文化活動部会……歴史ある景観の保全・環境整備・一小赤門保存・子供たちとの交流会
歴史文化講演会

地域防災安全活動部会……避難訓練（水害）・消火訓練（震災）・安全見守り

健康福祉活動部会……ウォーキング・ラジオ体操・健康福祉の増進運動

広 報 部 会……コミュニティ組織事業・地域内情報の広報

令和2年度 第1地区コミュニティ「わたらせ」事業計画

◆設立総会

開催日：令和2年10月17日
場所：はなももプラザ

◆歴史文化事業

事業内容：歴史ある景観の保存
環境整備
一小赤門の保存
子供たちとの交流会
歴史講演会 など

◆防災安全事業

事業内容：防災訓練
防災講演会
安全見守り
車用ステッカー作成
防犯（危険箇所）マップ作成 など

◆健康福祉事業

事業内容：ウォーキング
ラジオ体操
健康福祉の増進運動
環境美化運動 など

◆広報紙発行事業

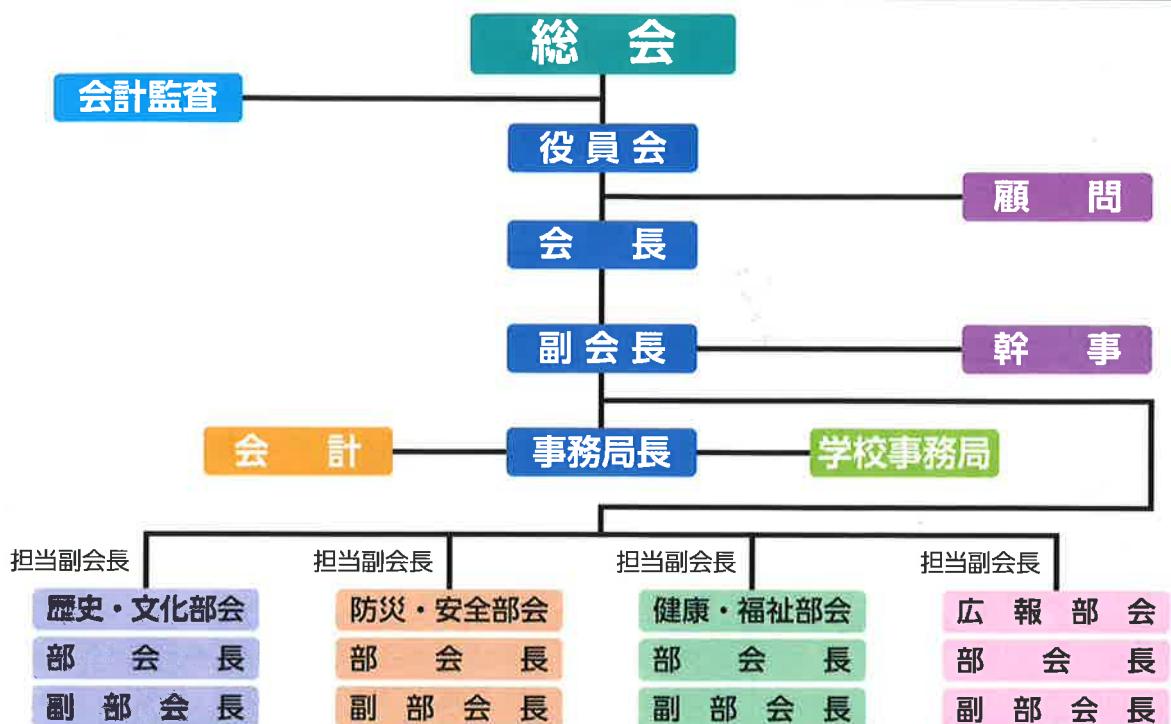
発行日：令和2年11月
令和3年3月
発行部数：第1回 3,000部（全戸配布）
第2回 1,000部（回覧）

事業内容：年2回発行
コミュニティ活動周知
イベント情報発信 など

◆役員会（開催隨時）

◆部会（開催随时）

第1地区コミュニティ「わたらせ」組織図



会員及び賛助会員（地区内の全住民・団体・事業者等）

自治会・老人会・子ども会・PTA・消防団・自主防災会・防犯連絡員・青少年相談員・民生委員・スポーツ推進員・交通安全推進員・他各種団体 など

令和2年度 第1地区コミュニティ「わたらせ」収支予算

収入の部

(単位：円)

科目	金額	備考
繰入金	260,000	令和元年度設立助成金（設立準備委員会残金）
設立助成金	300,000	令和2年度設立助成金
事業助成金	190,000	歴史文化事業（補助率2/3） 防犯安全事業（補助率2/3） 健康福祉事業（補助率2/3） 広報紙発行事業 3,000部 1,000部
会費	37,000	36自治会・出城の会
雑入	1,000	参加費収入・寄付金・広告費・その他
合計	788,000	

支出の部

(単位：円)

科目	金額	備考
会議費	50,000	設立総会・役員会・部会
事業費	330,000	歴史文化事業費 防災安全事業 健康福祉事業 広報紙発行事業年2回
事務費	20,000	
負担金	50,000	古河コミュニティ推進協議会会費・研修負担金
予備費	338,000	
合計	788,000	

この予算は相互に流用できるものとする

第1地区コミュニティ設立準備経過報告

月 日 等	設立までの流れ	協 議 内 容
平成29年5月22日	コミセン出城運営委員会	市で地区コミュニティの概要説明
平成29年6月から7月	地区内自治会長を訪問	市で36自治会長宅を訪問し現状と課題を聴取
平成30年5月22日	コミセン出城運営委員会	市で地区コミュニティの概要説明
令和元年5月23日	コミセン出城運営委員会	市で地区コミュニティの概要説明
令和2年3月4日	第1地区運営協議会役員会 第1回準備委員会発足	準備委員会発足 設立趣意書の審議 準備委員の選出 準備委員長・副委員長・事務局選出
令和2年5月26日	第1地区自治会長へ郵送	コミュニティイメージ図など
令和2年6月3日	三役会	今後のスケジュールの検討 組織の検討
令和2年6月17日	第2回準備委員会	設立趣意書決定 組織案・会則案検討 会費の額承認 周知案内方法等の協議
令和2年6月27日	第1地区全員協議会	地区内自治会長に説明する 地区コミュニティの設立について (準備委員会の経過報告と今後の予定・設立趣意書・組織について)
令和2年7月25日	三役会	今後のスケジュールの検討 会則・組織の再検討 事業内容の検討 予算の検討
令和2年8月23日	第3回準備委員会	コミュニティ愛称の検討 会則・組織の再検討 役員案提案選任 事業内容の検討 予算の検討 総会日程決定・提案内容検討
令和2年9月4日	三役会	総会役割・事業内容予算の検討
令和2年9月26日	第4回準備委員会	設立総会議案の決定
令和2年10月17日	第1地区コミュニティ設立総会	会則決定 役員決定 会費決定 事業計画決定 予算決定

第1地区コミュニティ「わたらせ」役員名簿

役 職 名	氏 名	自治会等	役 職 名	氏 名	自治会等
顧 問	竹村 靖	一小校長	歴史・文化部会長	鶩尾 政市	三神町
会 長	井上 淳	白壁町	防災安全部会長	松井 晃	南長谷
副 会 長	新井 忠夫	台町	健康・福祉部会長	一色 常夫	天神町
副 会 長	関 照美	大工町	広 報 部 会 長	阿部 捷一	江戸町
幹 事	小堀 英男	桜町	会 計 監 査	田口 精二	東片町
幹 事	須田 昭二	観音寺町	会 計 監 査	草間 悟	弥生
幹 事	古橋 道正	横山町	事務局兼会計	小出 富也	厩町
幹 事	関口 和勇	東鷹匠町	学校事務局	渋谷 雅美	一小教頭

編集後期

第1地区コミュニティ「わたらせ」がスタート！
自治会を越えた、新たな人とのつながりと温もりを感じ合える仲間づくりのため、広報部会頑張ります。

阿部 捷一・佐藤 容子
海老沼敏之・橋本 武彦
浅井 健次・渡邊 裕次
新井 忠夫